

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立原小学校
(東畑中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+3.4	+2.8	+4.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 69% 全国 65.6% 県 67%</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 我が国の言語文化</p>	<p>重点課題</p> <p>◎全体的に自分の考えを書いたりまとめたりすることに課題がある。特に、自分がどの立場の意見をもっているか、自分の考えの根拠はどこかが明確になっていない。(設問1四, 3二)【書くこと】(平均正答率53.8%, 46.2%) ◇問題を正しく読み、適切に表現することに課題がある。【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎読み取りの時には自分の立場や考えの根拠を明確にするため、発言に理由を必ず入れる。書かせたりする活動を設定する。また、授業だけでなく、日常生活の中でも、自分の立場や考えの根拠を書く場を多く設定することで、自分の考えをもつ場をつくる。 ◎授業の中で文章に線を引かせる等、叙述に振り返りながら読み取らせていく。 ◎宿題(漢字)の内容を次の日にミニテストを行い、既習漢字の定着を図る。 ◇問題の指示部分に線を引く等をして確認し、それに対応する箇所を見つけさせる。また、見つけた情報を条件に合わせてまとめる活動を取り入れる。</p> <p>検証</p> <p>◎令和4年度の全国学力(設問1四, 3二)(第5・6学年, 12月)目標80%→結果59% ◇令和4年度の全国学力(設問3二)(第5・6学年, 12月)目標80%→結果61%</p>
<p>算数</p> <p>本校 66% 全国 63.2% 県 64%</p> <p>数と計算 図形 変化と関係 データの活用</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇問題場面の数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係や、伴って変わる二つの数量の関係について考察し、記述することに課題がある。(設問2)【変化と関係】(平均正答率58.7%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎問題を図に表したり、指し示しながら説明したりする場を設定することで、問題場面を把握させる。 ◎全体交流した後、再び個人で考え表現させる場を設定する。 ◎前時に学習したことや宿題の内容からミニテストを行い、自分の定着度を振り返らせることで個に応じた家庭学習や放課後個別学習の充実を図る。 ◎◇日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりする活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎令和4年度の全国学力の設問2(第5・6学年, 12月)目標80%→結果56% ◇令和4年度の全国学力の設問2(3)(4)(第5・6学年, 12月)目標80%→結果46%</p>
<p>理科</p> <p>本校 68% 全国 63.3% 県 66%</p> <p>エネルギー 粒子 地球 生命</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇実験で得た知識や結果を問題の視点で分析して、解釈することに課題がある。(設問3)【エネルギー】(平均正答率52.9%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎一人一人が課題意識を持って実験に取り組み、思考したり経験したりする場を設ける。また、日頃から日常の事象についても気になったことや疑問に思ったことをノートに書き留めるようにさせ、考えさせる場を数多く設定する。 ◎校内に学習に繋がる掲示を行うことで、学習環境を整え、視覚的に知識を注入できるようにする。 ◇知識を知っているレベルではなく、原理・原則も理解した上で、応用することができるような場面を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇令和4年度の全国学力の設問3(第3・4・5・6学年, 12月)目標80%→結果81%</p>

【来年度に向けて】

- ・必ず根拠となる部分に線を引かせ、問いに対して根拠をもとに書かせる習慣をつける。 ・ふりかえりの視点を発達段階に合わせて具体化し、授業評価シートでも活用する。
- ・視写や作文に常時取り組ませ(スキルタイム)、家庭学習でも書く時間を確保させる。(日記・漢字学習を増やす) ・友達が発表した内容をもう一度自分の言葉で書かせる。(再思考→表現)
- ・計算ドリルや適用問題の解答をする時も、式やことばを使って書かせる。 ・記述の解答例を板書して、みんなでより良い表現に修正していく授業を設定する。